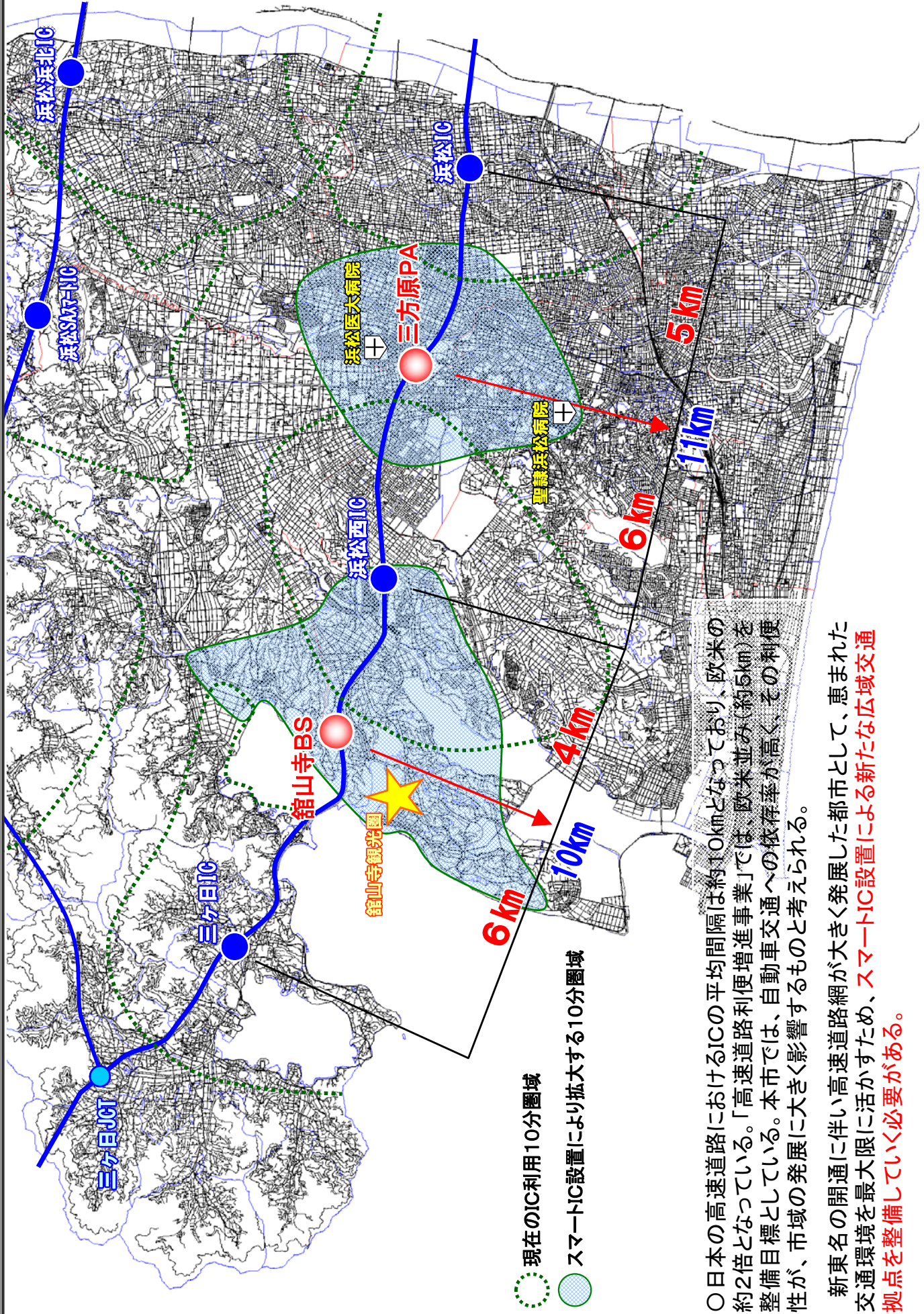


土木部

サマーレビュー2012 調書

1 部局名・区名(課名)	土木部 (道路課)	2 優先順位	1
3 事項名	東名高速道路へのスマートインターチェンジ設置について		
4 目的	東名高速道路へのスマート IC 設置により、新たな広域交通の拠点を形成し、高速道路と一般道路のネットワーク強化を図ることで、利便性の向上、産業・経済の活性化、観光交流の促進を目的とする。		
5 現状及び課題	東名高速道路の浜松 IC は、経済活動の拠点となる中心市街地の北東に位置しており、集中する利用交通によって、アクセス道路、IC 周辺が混雑している。また、浜松西 IC では、西部観光圏の広域交流拠点であるため、観光・行楽シーズンには交通が麻痺するほど混雑・渋滞が発生している。このことから、既存の東名高速道路の IC 周辺における交通の整流化が課題となっているので、新たな IC を設置していく。		
6 事業概要	高速道路の利便性向上として、次の事業を実施する。 1 東名高速道路三方原 PA へのスマート IC 設置 (産業・経済の活性化) 2 東名高速道路館山寺 BS 付近へのスマート IC 設置 (観光交流の促進)		
7 関係法令等	道路整備事業に係る国の財政法上の特別処置に関する法律 (昭和 33 年法律第 34 号)		
8 想定されるスケジュール	H24 10 月 採算性・実現性の確認 (実施の可否について整理: 勉強会) 11 月 地元協議 (合意形成) 12 月 地区協議会設立	H25 4 月～ 測量調査・詳細設計 H26 4 月～ 用地補償、工事 H29 3 月 供用開始	
9 他都市等の参考事例	新東名高速道路浜松 SA にてスマート IC を設置、平成 24 年 4 月供用開始		
10 過去のサマーレビュー等での審議経過	<input checked="" type="checkbox"/> なし (新規提案) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> その他	具体的内容 	
11 サマーレビューで審議、確認したい事項 (該当項目を□→■)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業等の新規提案 <input type="checkbox"/> 既存事業の見直し <input type="checkbox"/> その他	具体的内容 国の助成制度の期限や他都市の事例を参考とした本市の対応の検討・「高速道路利便増進事業」を活用し、コストを抑えた設置を目指しているが、平成 30 年 3 月 31 日までに供用開始することが条件となっており早急な対応が必要となる。また、設置を検討する 2 箇所について、目的・役割・地元の意向が異なることから、それぞれのスケジュール的には一致しないが、是非とも取り組んでいきたい。	
12 サマーレビュー結果 (実施後記載。該当項目を□→■)	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直し進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	具体的内容 関係機関との調整を進め、速やかに準備を行う。	

高速道路の利用圏域(10分圏域の拡大)



○日本の高速道路におけるICの平均間隔は約10kmとなっており、欧米の約2倍となっている。「高速道路利便増進事業」では、欧米並み(約5km)を整備目標としている。本市では、自動車交通への依存率が高く、その利便性が、地域の発展に大きく影響するものと考えられる。

新東名の開通に伴い高速道路網が大きく発展した都市として、恵まれた交通環境を最大限に活かすため、**スマートIC設置による新たな広域交通拠点を整備していく必要がある。**